The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	「それほど高くない程度」を表すmeget について
Author(s)	大辺, 理恵
Citation	IDUN ー北欧研究ー. 2022, 24, p. 81-97
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/87439
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

「それほど高くない程度」を表す meget について

大辺 理恵

1. はじめに

本稿では，デンマーク語において後続する形容詞や副詞の程度が著しく高いことを示す「強調の副詞」として用いられる meget〈とても，大変〉について取り扱う．この meget は，デンマーク語・デンマーク文学協会がオープンソースとして提供しているリスト Det hyppigste ord i dansk[1]に登録されている 1 万語のうち，32 番目に登録されており，使用頻度が非常に高い語の 1 つと言える．

(1) Tom: Hvad er der i vejen?
Anna: Jeg er meget, meget forkølet.（Bostrup: 19）
〈トム「どこが悪いの？」―アナ「とても，とても（ひどい）風邪をひいてるの」〉

(1)は初級デンマーク語学習のための教科書 *Aktivt Dansk* の第 2 課からの例である．このように meget はデンマーク語学習の初級段階で習得する語の 1 つでもあり，外国人デンマーク語話者・学習者によっても非常によく使われる語である．

しかしながら次の例における meget の意味について考えてみてもらいたい．

(2) Umiddelbart virker det, som om han gør det <u>meget godt</u>, men han har det virkelig med at springe over, hvor gærdet er lavest, ikke?（Holm: 63）[2]
〈表向きは<u>それなりに</u>やってるんだけど、ちょっとサボり癖があるみたいなんだよねー〉（村田：67）

日本語原典とデンマーク語訳を見比べる限り，日本語の「それなりに」がデンマーク語では meget godt で訳出されているようである．『新明解国語辞典』には，「それなり」が副詞として収録され，1 つ目の意味として「そのまま」，そして 2 つ目の意味として「十分ではないが、一応の事はあると認められること」とある．(2)の日本語原文における「それなりに」は 2 つ目の意味であると考えられ，デンマーク語訳における meget は「とても」や「大変」のような「著しく高い程度」を表すのではなく，「それなりに」に対応するような「それほど高くない程度」を表しているようだ．

Den Danske Ordbog（＝以下 DDO と略す）によれば[3]，megen/meget の中心

---

[1] https://korpus.dsl.dk/resources/details/freq-lemmas.html　なお本稿で使用したリストは固有名詞および数詞を含まないリストである．

[2] 下線は筆者が付加したものである．

[3] DDO には meget の項は存在せず meget で検索した場合は自動的に megen へと誘導される．

的な意味として「多大ではあるが，不特定の量をなすような；高い度合いで存在している」[4]とあり，(1)で確認したように，形容詞や副詞の直前に置かれ，いわゆる「とても」や「大変」と訳されるような「著しく高い程度」を表す meget の用法が挙げられている．この中心的な意味に付加する形で，「副詞として」使用することを条件に２つの意味が挙げられている．１つ目は「ある程度またはかなり高い度合いではあるが，条件つきで」[5]という意味，そして２つ目は「比較的何度もまたは一度に長時間」[6]という意味である[7]．このうち１つ目の付加的な意味が，(2)で確認したような「それほど高くない程度」を表す meget の用法と考えられる．以下に同箇所で挙げられている例文を紹介しておく．

(3) Det er alt sammen meget godt, men der stikker nu noget under, min ven!
〈何かもこれでまあまあ良いんだけど，何か隠してることがあるんでしょ，あなた！〉[8]

(4) Det gik sådan set meget godt, bortset fra, at direktøren blev anholdt kort efter
〈実際のところはまあまあ上手く行った，社長がすぐ後に逮捕されたことを除けば〉

このように現代デンマーク語の意味を記述している DDO においても「それほど高くない程度」を表す meget の用法が明記されていることからも，meget におけるこの用法については，日本人のデンマーク語話者・学習者にとって理解しておく必要がある事柄だと思われる．

以下本稿では，「後続する形容詞・副詞の程度が著しく高いこと」を示す meget を meget 1，「後続する形容詞・副詞の程度がそれほど高くないこと」を表す meget を meget 2 と示す．以下§2 では，Hansen（2013）と Brink（2015）を参照しながら meget 2 が表す意味内容について確認し，§3 では meget 2 と共起する形容詞や副詞が持つ特徴について，また§4 では meget 2 を使用する際の発音上の特徴についてまとめる．さらに§5 では meget 2 の使用がいつ頃からのものであるのかについて議論する．以上の点を踏まえ，§6 では外国人デンマーク語話者・

---

[4] som udgør en stor, men ubestemt mængde; som forekommer i høj grad（DDO）

[5] i en vis eller ret stor grad, men med forbehold（DDO）

[6] forholdsvis mange gange eller i længere tid ad gangen（DDO）

[7] ２つ目の付加的な意味では，meget が形容詞や副詞の程度を強調するための副詞ではなく動詞または文全体を修飾するために使われているため，本稿の対象となる meget ではない．

[8] 例文中の下線は筆者によるもの．また日本語訳では，この「それほど高くない程度」を表す meget の日本語訳として「まあまあ」を採用しているが，その理由については§2 を参照されたい．また，本学デンマーク人特任教員の Lauritz Korfix Schultz 氏からは「それほど高くない程度」を表す meget が使用されると，そこで文が終わらずに(3)や(4)にあるように直後に men などを伴って文が続いていくことが一般的だとの指摘もあった．

学習者の視点から見た meget 2 の使用をめぐる疑問点を提示し，これらの疑問点に対しての暫定的な回答を提示したい．

2.「それほど高くない程度」を表す meget 2

Hansen（2013）では，*meget* を「一般的で，日常的なそして非常に難しい語」[9] と紹介し，以下の例文を用いてその意味の複雑さを指摘している．

（5）Nå, hvordan gik jeres rejse? Godt! (Hansen: 6)
〈「ところで，君たちの旅行はどうだった？」「良かったよ！」〉

（6）Nå, hvordan gik jeres rejse? Meget godt. (*ibid.*)
〈「ところで，君たちの旅行はどうだった？」「まあまあ（良かった）」〉

(5)と(6)での回答について Hansen（2013）は次のように説明する：

> 最初の回答【(5)の回答：筆者付記】は，全くもってポジティブな意味であり，その旅行は上手くいったということである．2番目の回答【(6)の回答：筆者付記】は控え目である．その旅行はかなり上手くいったけれど，これ以上ないほど上手くいったわけではない，ということである[10]

(5)と(6)においては，meget godt の方が meget を伴わずに単独で使われている godt よりも程度が低いことを表しているということである．つまり(6)における meget は「それほど高くない程度」を表す meget 2 であり，「著しく高い程度」を表す meget 1 ではない．meget 2 の存在を知らない外国人デンマーク語話者・学習者であれば，(6)の meget godt について，meget 1 が使われていると判断してしまうであろうし，その場合にはコミュニケーション上の混乱を招くことも容易に想像できるであろう．

また Brink（2015）はこの「それほど高くない程度」を表す meget 2 について「その形容詞が単独で持つ【meget 2 を伴わずに使われる場合の：筆者付記】価値とその形容詞のゼロ地点との間にある不特定の度合い」[11]を示すものとして記述している．そして以下の例を挙げ，

（7）en elev, der er meget god (Brink 2015: 23)[12]
〈まあまあ出来の良い生徒〉

---

[9] Vort danske *meget* er et almindeligt, dagligdags og hundesvært ord. (Hansen 2013: 6)

[10] Det første svar er uindskrænket positivt, rejsen gik godt. Det andet svar er forbeholdent. Rejsen gik ret godt, ikke helt godt. (Hansen 2013: 6)

[11] en ubestemt grad af adjektivet mellem dets isolerede værdi og dets nulpunkt. (Brink 2015: 23)

[12] Brink（2015: 23）では，この例文には強勢の表示がされているが，ここでは議論を meget 2 の意味に限定するために省略した．

この生徒が「とてつもなく良いわけでもないが，落第の危険性があるわけでもない」[13]と説明している．

Hansen（2013）と Brink（2015）の記述を総合すると，meget 2 が表す程度というのは「著しく高いわけでもないが，著しく低いわけでもない程度」と考えられる．(5)-(7)では日本語訳として「まあまあ」を採用しているが，『基礎日本語辞典』は「まあまあ」について，以下のように記述している．

> 決して十分ではないが、だめでもない、それでよしとすべき不完全な十分さ、不満ながらも認めてやらねばなるまいという、飛びきり上等ではないやや低めの評価である。（森田: 1038，下線は筆者による）

下線部分に見られるように，日本語の「まあまあ」には最高到達地点とゼロ地点の間の中間地点を指し示す機能があるようだ．このことは meget 2 が表す程度とも，完全の一致はしていないであろうが，重なる部分が多いにあると考えられるため，本稿では meget 2 の日本語訳として「まあまあ」という副詞を採用する．

2.1. meget 2 と temmelig に見られる共通点と相違点

Hansen（2013: 6）では，この「それほど高くない程度」を表す meget 2 は，temmelig と同程度を表すことが指摘されている．DDO では temmelig は *i forholdsvis høj grad*〈比較的高い程度で〉としか説明がない．ただ Brink（2015: 23）では，両者の違いがより詳細に記述されている．

Brink（2015）は，§1 の(7)に関連して述べた meget 2 の特徴を踏まえ，以下のように temmelig との違いについて説明している．

> meget 2 を別の語に訳すとしたら，それは temmelig になるに違いない，しかしながらこの temmelig はより正確なもので（割合高い度合いのことを表す，これに対して meget 2 はあの中庸部分【とてつもなく高い度合いではないが，かといってゼロに近いわけでもない：筆者付記】も含んでいる），そして無関心さ【＝どうでも良いと話者が思っている感じ：筆者付記】を欠いている[14]．

Brink（2015）ではこの「無関心さ」について，これ以上の説明はなされていな

---

[13] hverken vældig god eller i dumpefare (Brink 2015: 23)

[14] Skal man oversætte *meget 2* til et andet ord, må det blive *temmelig*, som dog er mere præcist (en ret høj grad, hvor *meget 2* også omfatter den bløde mellemvare) og mangler det uengagerede. (Brink 2015: 23)

いが，話し手が当該の形容詞・副詞を用いて描写している内容そのものに対して無関心であることを表していると考えられる．よって Brink（2015）の説明にしたがえば，meget 2 は temmelig で言い換えられなくはないが，両者が包括している程度には差があり，さらには meget 2 が話者の陳述内容に対する無関心さを含意しているのに対して，temmelig にはそのような含意はないということになる．

ここまで meget 2 が表す程度について確認をしてきたが，Hansen（2013）そして Brink（2015）では，この「それほど高くない程度」を示す meget 2 は，無条件に使うことができるものではなく，その使用にあたってはいくつかの特徴が指摘されている．以下その特徴について見ていく．

3. meget 2 と共起する形容詞（副詞）の特徴[15]

Hansen（2013）および Brink（2015）では，meget 2 と共起する形容詞（副詞）は「肯定的な内容を表している」ことが指摘されている[16]．

（8）Ole er meget kvik. (Hansen: 6) 〈オーレはまあまあ利口だ〉

（9）*Ole er meget dum. (*ibid.*) 〈？オーレはまあまあバカだ〉[17]

(8)そして(9)から分かるように，デンマーク語では meget 2 は何かしら肯定的な内容を表す形容詞（副詞）とは共起できるが，否定的な内容を表す形容詞（副詞）

---

[15] Hansen(2013)および Brink(2015)ではいずれにおいても，【meget＋形容詞】という構造を主として扱っているが，例えば Brink（2015: 23）では，meget 2 と結び付く形容詞を例示している箇所で以下のように言及されている．

Meget 2 kan altså forbindes med adjektiver (og modsvarende adverbier) som *god, rar,*
〈したがって，meget 2 は *god* や *rar* のような形容詞（そして対応する副詞）と結び付くことができる〉

この記述を確認する限り，modsvarende adverbier が指し示すのは godt や rart のような形容詞の t-形の副詞的用法のことであり，gerne や ofte のような純粋な副詞のことではないと思われる．実際，両者とも例文を確認する限りは【meget＋副詞】という構造にも言及しているが，この場合の副詞はいずれも形容詞の t-形（もしくは t-形が存在しない形容詞は見出し語形）である．したがって本稿において以下「形容詞（副詞）」と記述する際には，「形容詞とその副詞的用法」のことを指すこととする．

[16] Hansen(2013)そして Brink（2015）では具体的に以下のように示されている．

For det første skal adjektivet betegne noget positivt (Hansen 2013: 6)
〈第 1 にその形容詞は肯定的なものを示していなくてはならない〉
Meget + et almindeligt, positivt (men ikke *meget* positivt) adjektiv (eller adverbium) … (Brink 2015: 23)
〈meget＋普通の，肯定的な（しかし*過度に*肯定的ではない）形容詞（または副詞）は…〉

[17] (9)は meget 2 が dum のような否定的な内容を表す形容詞（副詞）と共起できないという例であるが，『基礎日本語辞典』には「まあまあ」に関してそのような制約があるとは記載されていないため，日本語訳としては「？」を付している．

とは共起できないようだ[18]．Brink (2015: 23)はこの特徴に加えて，meget 2 と共起する形容詞（副詞）は「過度に高い度合いで肯定的であってはいけない」というより詳細な特徴について言及している．

（10）*Det er meget pragtfuldt. ＜？それはまあまあ華麗だ＞

（11）*Det er meget strålende. ＜？それはまあまあ素晴らしい＞[19]

Brink（2015: 25）では，この「肯定的な内容」が positiv ＜肯定的な＞ ではなく，rosende ＜褒めるような＞ で言い換えられている．よって「肯定的な内容」とはより限定的には「（対象を）褒めるような内容」を指すのではないかと思われる．

また Hansen（2013: 6）および Brink（2015: 23）では，meget 2 と共起する形容詞（副詞）の特徴として「その形容詞（副詞）の使用頻度が高い」ことも指摘されている．

（12）*Det er meget grinagtigt. ＜？それはまあまあ滑稽だ＞

（13）*Det er meget prisbilligt. ＜？それはまあまあ値段が安い＞[20]

（12）や（13）の grinagtig や prisbillig は例えば god に比べると使用頻度が低いという理由で meget 2 と共起することがないという[21]．以下に meget 2 と共起する形容詞（副詞）における特徴をまとめ，Hansen(2013)および Brink（2015）がそれぞれ具体的にどのような形容詞（副詞）を例に挙げているかを示す．

① meget 2 と共起する形容詞（副詞）は肯定的な内容（＝（対象を）褒めるような内容）を表す．ただし，過度に肯定的な内容を表していてはならない． ② meget 2 と共起する形容詞（副詞）は使用頻度が高くなくてはならない．

[18] Hansen（2013: 7）によれば，meget 2 が肯定的な内容を表す形容詞（副詞）とのみ結び付き，否定的な内容を表す形容詞（副詞）とは結び付かないという特徴は，rimelig ＜かなり＞や temmelig＜かなり＞がかつては肯定的な内容を表す形容詞（副詞）としか結び付くことができなかったことと類似していることが指摘されている．ちなみに現在では，rimelig も temmelig も肯定的な内容を表す形容詞（副詞）とも否定的な内容を表す形容詞（副詞）とも結び付くことができる．以上のことを考慮すると，デンマーク語においては何かしらの理由で，いつの時代にあっても肯定的な形容詞（副詞）とのみ結び付く強調の副詞の存在が確認できるのかもしれない．将来的には meget 2 も，rimelig や temmelig と同じ変遷を辿るとすれば，その頃には meget 2 に変わる肯定的な形容詞（副詞）とのみ結び付く別の強調の副詞が登場している可能性も否定できないであろう．

[19] (10)と(11)は，Brink（2015)で例示されている形容詞を使用し筆者が作成した例文である．

[20] (12)と(13)は，Hansen（2013）と Brink（2015）で例示されている形容詞を使用し筆者が作成した例文である．

[21] grinagtig も prisbillig も det hyppigste ord i dansk の 1 万語リストには登録されていない．

Hansen（2013: 6）：god〈良い；美味しい〉[22], fin〈良い；上品な；高級な〉, pæn〈きれいな；行儀の良い〉, flink〈親切な；有能な〉, fornuftig〈分別のある〉, ren〈清潔な〉, sjov〈面白い〉, morsom〈愉快な〉, skæg〈面白い〉, interessant〈興味深い〉, fordelagtig〈好都合な；魅力的な〉, spændende〈面白い，ワクワクする〉, passende〈適切な；道徳的な〉

Brink（2015: 23）：god, rar〈感じのいい；親切な〉, behagelig〈感じのいい；心地良い〉, sød〈優しい〉[23], net〈愛らしい；行儀の良い〉, pæn, sjov, glad〈嬉しい〉, normal〈正常な，普通の〉, naturlig〈自然体の〉, smart〈オシャレな；巧妙な〉

Brink(2015: 23)は，meget 2 と共起する形容詞（副詞）にみられる上記のような特徴は，§1.1 で述べた meget 2 の「話者の陳述内容に対する無関心さ」という性質と関連があることを指摘している．Brink（2015）は，「自身の言葉選びに慎重であり，また無関心であるということは両立できない」[24]というように表現しており，これは言い換えるなら，話し手が形容詞（副詞）を用いて描写している対象に対して無関心であるまたはどうでも良いと思っていることを表す meget 2 の使用と，非常に高い度合いの肯定を表す形容詞（副詞）やそれほど頻繁に用いられない特別な形容詞（副詞）の使用，つまり自身の単語の選択にこだわりを見せることに矛盾が生じるということであろう．また Brink（2015）は同様の理由から，meget 2 が否定的な内容の形容詞（副詞）と共起できないことも説明がつくとしている．つまり話し手は否定的な内容の形容詞（副詞）を用いる時点で，その陳述内容について無関心ではないと考えられるため，そのような文脈は meget 2 の使用にはそぐわないということである．

以上 meget 2 と共起する形容詞（副詞）の特徴についてまとめた．次章ではこの meget 2 が使用される際の発音上の特徴についてまとめる．

4. meget 2 の使用における発音上の特徴

（14）Hun er meget sart. (Hansen: 6)〈彼女はとても繊細だ〉

（15）Her er meget rart. (*ibid.*)〈ここはまあまあ過ごしやすい〉

Hansen(2013)によれば，(14)では meget 1 が，そして(15)では meget 2 が使わ

[22] 各形容詞（副詞）には日本語において複数の訳語が適用されるのが一般的だが，本稿では紙幅の都合上，＜＞内に示す日本語訳を，当該の形容詞（副詞）における「(過度ではないが)（対象を褒めるような)肯定的な意味」を表していると考えられる代表的な訳語に限定した．

[23] Hansen（2013：7）でも Brink（2015：23）でも，meget 2 と共起するのは「甘い」という意味での sød ではなく，「優しい」という意味での sød であると述べられている．

[24] man kan ikke både være omhyggelig i sit ordvalg og uengageret (Brink 2015: 23)

れており，書き言葉としては何の違いも現れていないが，発音上では強勢の置き方に違いがあるという．(14)の meget sart では，２つの語に同じ強勢が置かれているのに対し，(15)の meget rart では，meget には通常の強勢が置かれるが，rart にはそれよりも弱い強勢が置かれると説明されている．meget rart に置かれる強勢について Hansen（2013）は合成語の sneglefart〈非常に遅い速度〉を例にして同様の強勢の配置であることを述べている．Brink（2015: 23）の記述を参考にすると，以下(14')と(15')のように meget の部分にはいずれの場合も第１強勢が置かれるが，後続する形容詞に関しては，sart には直前の meget と同じく第１強勢が置かれるのに対し，rart には直前の meget とは異なる第２強勢が置かれると解釈することができる[25].

（14'） Hun er ˈmeget ˈsart.

（15'） Her er ˈmeget ˌrart.

Brink（2015: 23）は以上の説明を補足する形で，meget 2 が使われている文では，普段は置かれない人称代名詞に文強勢が置かれることも指摘している．

（16） ˈHan var da ˈmeget ˌsjov. (Brink: 23)〈彼はまあまあ面白かっただろ〉

（17） ˈDet er ˈmeget ˌnormalt. (*ibid.*)〈それはまあまあ普通のことです〉

また，人称代名詞に文強勢が置かれる場合は，それに後続する動詞の強勢がなくなることも指摘されている[26].

（18） ˈHun synger ˈmeget ˌpænt. (Brink: 24)〈彼女はまあまあ上手に歌う〉

（19） Hun ˈsynger ˈmeget ˈpænt. (*ibid.*)〈彼女はとても上手に歌う〉

meget 1 と meget 2 には上記のような発音上の特徴における違いがあること，および meget 1 と meget 2 は書き言葉上では見分けが付かないことを考えると，meget 2 については主に話し言葉（実際の会話のみならず，小説などにおける会話文も含む）において注意が必要だと言えるであろう．ただし Hansen（2013: 7）は，meget 2 の使用に付随して生じる下降する音調や強勢の消失を外国人が使用し理解することは難しいとも指摘している[27].

---

[25] また Hansen（2013）は，meget 1 と meget 2 に見られる強勢の違いについて，以下のようにも表現している．

Det trykstærke *meget* har en tydeligt nedadgående eller lidt dybere tone. (Hansen 2013: 6)
〈この強勢のある meget【meget 2 を指す：筆者付記】は明らかに下降気味の，もしくは若干低い音調を持っている〉

[26] Brink（2015: 25-26）は，meget 2 の使用で生じるこのような発音上のパターンは，introduktionstryk（紹介文における強勢）または sammenligningstryk（比較のための強勢）による影響であろうと指摘している．introduktionstryk と sammenligningstryk については，Hansen & Lund（1983）を参照されたい．

[27] Hansen（2013）では，このような meget 2 の発音上の特徴を知らなかったために起きた外国人デンマーク語話者による間違いとして以下の例が示されている．

以上，meget 2 が使用される際の発音上の特徴についてまとめた．次章ではこの meget 2 の用法はデンマーク語において一体いつ頃から見られるものなのかということについて考えてみたい．

5. meget 2 は比較的新しい言語使用なのか？

Brink（2015）は meget 2 の使用について以下のように書いている．

> meget 2 は割合最近にできたものに違いない．この meget 2 については *Ordbog over det Danske Sprog* やより古い辞書では取り上げられておらず，出版されている方言辞典でも取り上げられていない．[28]

しかしながら，筆者が Ordbog over det Danske Sprog（以下 ODS と略す）の megen の項を確認したところ，副詞として後続する形容詞や副詞に結び付く用法についての説明がある《3.2.》内で，以下の例が挙げられていた．

(20) “hvorledes synes Du saa egenlig om Paris?” .. ”Jo, Tak, godt, meget godt” .. ”Godt, meget godt . . det vil sige: temmelig godt. Er der Noget i Vejen?” (ODS)
〈「本当のところあなたはパリについてどう思っているのですか？」—「そうですね，ありがとう，良いです，まあまあ良いです」—「良い，まあまあ良い…つまり：かなり良いと．何か問題でも？」〉

(20)は M.A. Goldschmidt が 1856 年に発表した *Pon Cleophas* からの抜粋であるが, 実際に meget が temmelig で言い換えられている (cf. 1.1). ODS で temmelig の副詞としての用法について確認したところ, temmelig が形容詞や副詞とともに用いられた場合には,「取り立てて高いもしくは強いわけではない（しかし取り立てて乏しいわけでもない）程度で存在する性質を表す」[29]とあり，meget 2 の用法に非常に近接していることが確認できる[30].

(a) Tak for mad, ˈdet smagte ˈmeget ˌgodt. (Hansen 2013: 7，強勢の有無は筆者が付加)
〈ごちそうさまでした，まあまあ美味しかったです〉

[28] *Meget 2* må være af nyere dato. Den er ikke omtalt i Ordbog over det Danske Sprog (1932) eller ældre ordbøger, ej heller i de udgivne dialektordbøger.

[29] som udtr. for, at en egenskab er til stede i ikke særlig høj ell. stærk (men heller ikke særlig ringe) grad

[30] §2.1 で確認したように，meget 2 は temmelig で言い換えることができるけれども，両者には細かい意味の違いが存在する．本項では両者が全く同じ意味でないことを示すため，temmelig の訳語として「かなり」を使用している．『基礎日本語辞典』(森田: 332) によれば，「かなり」は「物事の度合いが、じゅうぶん満足できるほど（または完全な極限状態）までは行っていないが、ある程度の線まで達していること。」とあり，§2.1 で確認した temmelig の意味とも重なる部分があると考えられる．

また（20）では，meget godt を temmelig godt に言い換えた後に”Er der Noget i Vejen?”〈何か問題でも？〉という文が付け加えられていることからも分かるように，パリの良さについて「それほど高くない程度」であると話していることが文脈からも判断できる．

以上のように，Brink（2015）は meget 2 の用法が割合最近に発生したものであろうと述べているが，筆者が ODS を確認する限りでは，meget 2 とみられる用法が少なくとも 1800 年代半ば頃には存在していたと考えられる．しかしながらこの「それほど高くない程度」を表す meget 2 については，例えば Mikkelsen（1975），Hansen（1967）そして Wiwel（1901）などの文法書でも言及されていないことを考えると，meget の用法としては存在していたがデンマーク語の母語話者にとっては説明が必要な事柄ではなかったのかもしれない．1970 年代以降デンマークへの移民数が増加するに伴い，デンマーク語以外の母語を持つ人たちが第 2 言語としてデンマーク語を話すようになった結果，彼らの言語使用における meget の使用が，Erik Hansen や Lars Brink などのデンマーク人言語学者たちに meget 1 と meget 2 の違いについてより鮮明に意識させることとなったのかもしれない[31]．

§2-§5 では，「それほど高くない程度」を表す meget 2 の特徴についてまとめてきた．以下では，このような性質を持つ meget 2 の存在に対して外国人デンマーク語話者・学習者が留意するべき点について議論していきたい．

6. meget の使用にあたって外国人デンマーク語話者・学習者が留意するべき点

meget 2 が「頻繁に用いられ」なおかつ「（過度ではないが）肯定的な意味を持つ」形容詞（副詞）と共起するのであれば，この meget 2 が初級デンマーク語学習者向けの教科書に使用されていてもおかしくはない．実際，初級デンマーク語学習のための教科書 *Aktivt Dansk* には以下のような例が見られた．

（21）Ida: 'Hej 'Mikkel! - Mikkel: 'Hej I'da! Hvor'dan går 'det? - Ida: Det går 'meget 'godt. 'Hvad med 'dig?[32]（Bostrup: 126）
〈イーダ「こんにちは，ミゲル！」―ミゲル「こんにちは，イーダ！調子はどう？」―イーダ「とても良いわ．あなたは？」〉

[31] 実際に Brink(2015: 23)によれば，この meget 2 について話題になったのは，Lars Brink 自身と Erik Hansen, Jørn Lund, Steffen Heger が 1970 年代に外国人向けのデンマーク語のコースを開講していたときのことであるそうである．

[32] (21)は *Aktivt Dansk* の第 5 課における会話テキストとの一部であるが，*Aktivt Dansk* の最後には各課の会話テキストに文強勢および stød の位置を示したものが収録されており，(21) における ' は文強勢（第 1 強勢も第 2 強勢も）がある箇所を，そして ’ は stød がある位置を示している．

(21)における２番目の Ida の発話では，meget にも godt にも強勢を置くというよう示されているが，実際にこの会話を音声で確認すると，Det går ˈmeget ˌgodt. と発音されており，meget のみに第１強勢が置かれ，godt には第２強勢が置かれている[33]．つまり発音上で確認する限りは，(21)内の meget は meget 2 と考えられ，意味的にも「調子がとても良い」ことを表すのではなく，「調子はまあまあ良い」ということを表していると考えられる．

このように meget 2 は実際に初級デンマーク語学習者向けの教科書でも使用されており，今後は初級デンマーク語学習者にもこの meget 2 の存在を説明しておく必要があるだろう．そして私たち外国人デンマーク語話者・学習者が meget を使用するにあたっては，差し当たり以下の２つの疑問点をクリアにしておくことが有益であろう．

・疑問点１：「頻繁に用いられ」なおかつ「(過度ではないが）肯定的な意味を持つ」形容詞（副詞）とともに meget を使うと，§4 で示した強勢を使いこなせない限り，meget 2 の意味に誤解される危険性がある．それではこの誤解を避けるためには，meget ではなく，他にどのような副詞を使えば良いのか？

・疑問点２：「頻繁に用いられ」なおかつ「(過度ではないが）肯定的な意味を持つ」形容詞（副詞）であれば，どの形容詞（副詞）であっても直前で meget の使用を避けるべきなのか？あるいは一部の形容詞（副詞）の前でのみ meget の使用に留意するべきなのだろうか？

§6.1 ではまず疑問点１について Hansen（2013）および Brink（2015）で提案されている meget 1 と meget 2 の混同を避けるために代替の副詞として使えるものについて確認する．また§6.2 では meget 2 と共起しやすく，故に強調の副詞として meget 自体の使用に配慮するべき形容詞（副詞）について，KorpusDK を使って調査した結果について述べる．

6.1. meget 1 に代わりうるもの

Hansen（2013）そして Brink（2015）では，「頻繁に用いられ」なおかつ「(過度ではないが）肯定的な意味を持つ」形容詞（副詞），例えば god などの前で，その程度が著しく高いことを表す際には，meget 1 の代わりに rigtig の使用が提案されている．

Hansen（2013: 7）では，デンマーク人ネイティヴの言語使用においても，近年は meget の代わりに rigtig の使用が増えていることが指摘されており，その理由として書き言葉上では meget 1 と meget 2 の区別が付けられないことが挙げられ

[33] 強勢については，本学デンマーク人特任教員の Lauritz Korfix Schultz 氏にも確認をしてもらった．

ている．同様のことは Brink（2015: 24）でも指摘されており，さらに meget 2 と共起することのない否定的な内容を表す形容詞（副詞）の前では rigtig の使用がそれほど多くないことも指摘されている．

また Hansen（2013: 7）では rigtig 以外に særdeles, overordentlig, kolossalt, ekstremt, yderst, enormt, vældig, (helt) vildt のような副詞も挙げられてはいるが，これらの副詞は meget 1 が示す程度を明らかに超えるような高い程度を表していることを意識しておかなければならないことも同時に指摘されている．さらに強調の副詞を用いるのではなく，強調を表す接頭辞の mega-や smadder-などを形容詞（副詞）につけて使用する方法やそれぞれの形容詞（副詞）に特有の合成語（knippelgod〈とても良い〉や dødspændende〈とてもワクワクする〉など）を使って当該の形容詞（副詞）の程度が著しく高いことを示す方法についても言及されている．

次節では，§6 で挙げた疑問点 2 についてコーパスでの検索結果を確認しながら検証していく．

6.2. meget 2 と共起しやすい形容詞（副詞）とは？

§6 の疑問点 2 については，Hansen（2013）および Brink（2015）が「頻繁に用いられ」なおかつ「(過度ではないが）肯定的な意味を持つ」形容詞（副詞）として例示している語（cf. §3）を対象とし，実際にどれほどの割合でそれらの形容詞（副詞）が meget そして rigtig/rigtigt とともに使用されているのかを KorpusDK[34]を使って調査した[35]．

今回 KorpusDK を使った調査では，まず① 対象とした形容詞（副詞），例えば形容詞 god が原級（＝god/godt/gode）そして副詞的用法（＝godt）で使用されている文の数を調べた．さらにそれらの文の中から，② meget が形容詞（副詞）

[34] KorpusDK は，1983 年-1992 年および 1998 年-2002 年の期間からのテキストから成り立つコーパスで，デンマーク語・デンマーク文学協会が無料で提供しているものである．含まれるテキストの種類としては，新聞記事，雑誌記事，小説などが主となっている．

[35] ただし §3 で列挙した形容詞（副詞）のうち，net と sød は今回の調査の対象外とした．net は det hyppigste ord i dansk にある 1 万語のリスト内にない形容詞（副詞）のため，「頻繁に用いられ」という条件を満たしていないと判断した．また sød については，脚注 23 でも述べたように多義的であり，sød が検索結果の文の中で「(過度ではないが）肯定的な意味」と考えられる〈優しい〉という意味で使われているかどうかを逐一判断する必要があるため，今回の KorpusDK を用いた調査には適さないと判断した．

の直前で使われている（＝meget＋god/godt/gode とmeget godt）文の数を調べ[36]，次に③ rigtig もしくは rigtigt[37]が形容詞（副詞）の直前で使われている（＝rigtig/rigtigt＋god/godt/gode と rigtig/rigtigt godt）文の数を調べた．以下その結果を Det hyppigste ord i dansk のリストで使用頻度の高い順に示す．

	1	2	3	4	5
	god	ren	fin	glad	normal
meget	1223 (1.0%)[38]	40 (0.9%)	567 (5.2%)	743 (6.8%)	43 (0.4%)
rigtig[39]	1290 (1.1%)	0 (0%)	40 (0.4%)	69 (0.6%)	0 (0%)
	6	7	8	9	10
	spændende	interessant	naturlig	sjov	pæn
meget	250 (4.8%)	220 (3.9%)	134 (1.7%)	143 (3.6%)	77 (1.3%)
rigtig	14 (0.3%)	21 (0.4%)	1 (0.01%)	47 (1.2%)	32 (0.5%)
	11	12	13	14	15
	fornuftig	rar	smart	passende	morsom
meget	113 (3.0%)	104 (3.6%)	38 (2.0%)	44 (2.7%)	102 (5.5%)
rigtig	5 (0.1%)	16 (0.5%)	20 (1.0%)	0 (0%)	9 (0.5%)
	16	17	18	19	
	behagelig	flink	skæg	fordelagtig	
meget	41 (3.1%)	51 (5.7%)	41 (6.6%)	16 (4.5%)	
rigtig	4 (0.3%)	9 (1.0%)	5 (0.8%)	0 (0%)	

＜表１：KorpusDK における【meget＋形容詞（副詞）】
または【rigtig/rigtigt＋形容詞（副詞）】の発現数＞

調査の結果，上記 19 個の形容詞（副詞）の中で最も使用頻度が高い形容詞（副詞）である god においてのみ，rigtig/rigtigt との共起数と meget との共起数がかなり拮抗していた．§6.1 で確認した Hansen（2013）と Brink（2015）の主張では，「頻繁に用いられ」なおかつ「（過度ではないが）肯定的な意味を持つ」形容

[36] meget 1 と meget 2 には形式上の違いはなく，両者の違いは発音もしくは文脈によって決定するしかない．したがって，今回の調査における［meget＋対象とした形容詞（副詞）］の発現数には，meget 1 も meget 2 も含まれている．

[37] 程度の副詞としては rigtig も rigtigt も用いられるため，今回の調査では両方の検索をした．

[38] （　）内のパーセンテージは，形容詞 god/godt/gode そして副詞 godt が含まれる例文の総数に対して，当該の形容詞（副詞）が meget を直前に持つ場合の例文数の割合である．なお、小数点第２位で四捨五入したものを表示している．

[39] ここでは，rigtig そして rigtigt どちらも指す．

詞（副詞）の前では meget の使用が誤解を招く可能性があることから，近年では rigtig/rigtigt の使用が増えているということであるから，形容詞 god/godt/gode そして副詞 godt においても，直前での meget 1 の使用が meget 2 に誤解されてしまう危険性があり，それを避けるために rigtig/rigtigt が使われているのではないかと考えることができるであろう．これに対して ren, normal, passende, fordelagtig のように rigtig/rigtigt との共起が確認されなかった形容詞（副詞）も存在した．その他の形容詞（副詞）では，meget とも rigtig/rigtigt とも共起する文が存在したが，god の場合ほどに meget そして rigtig/rigtigt との共起数が拮抗しているということはなかった．このことから，Hansen（2013）および Brink(2015)が例示している形容詞（副詞）上記 19 個の形容詞（副詞）全てにおいて，meget 2 への誤解を避けるために rigtig/rigtigt が使用されているわけではないことが分かるであろう．

先に述べた形容詞 god/godt/gode そして副詞 godt において，meget との共起数および rigtig/rigtigt との共起数が特筆して拮抗しているが，それ以外にも例えば形容詞 smart/smarte そして副詞 smart または形容詞 pæn/pænt/pæne そして副詞 pænt では比較的 rigtig/rigtigt との共起数が多いことが指摘できる．

しかしながら KorpusDK に含まれるテキストは，主として書き言葉の媒体である記事や小説であり，またそれらのテキストが 1980 年代，1990 年代および 2000 年代の初頭に書かれたものが主であることを考慮すれば，話し言葉においては，表 1 で見た結果とは異なる結果が見られる可能性は否定できない．また 2000 年以降のテキストだけを調査対象とした場合には，表 1 で確認した結果とは異なる結果が得られることも十分に予想されるだろう．

6. おわりに

本稿では「それほど高くない程度」を表す meget 2 について，Hansen（2013）そして Brink（2015）の記述に基づき meget 2 の表す意味そして共起する形容詞（副詞）の特徴について見てきた．

まず外国人デンマーク語話者・学習者にとって肝心なことは，デンマーク語母語話者が meget 2 を使用していることを認識することであると言える．その上で自分自身が使用する際には，共起する形容詞（副詞）の特徴，特に発音上の特徴に留意するべきであろう．また特に形容詞 god/godt/gode もしくは副詞 godt とともに meget を使う際には，本人が「著しく高い程度」を表す meget 1 を使用したつもりであっても，正しい文アクセントを置かなかった場合には，「それほど高くない程度」を表す meget 2 に誤解されてしまう可能性が高いため，この誤解を避けるために meget ではない別の強調の副詞を使用することが推奨されるので

はないかと考えられる.

Om *meget*, som udtrykker ”ikke så høj grad”

Rie Obe

Resumé

Denne artikel handler om *meget*, som ifølge Hansen (2013) og Brink (2015) udtrykker, at noget ikke er i så høj grad. Denne særlige brug af *meget*, som jo ellers udtrykker, at noget ER i høj grad, kan forvirre udenlandske danskstuderende eller udlændinge, der har dansk som andet sprog. Når denne særlige brug af *meget* kan volde kommunikationsproblemer især i talesproget, er det mere end vigtigt for dem at vide, at danskerne nogle gange bruger *meget* for at udtrykke, at noget IKKE er i så høj grad. I artiklen har jeg derfor gennemgået de forskellige egenskaber af denne særlige brug af *meget*, som Hansen (2013) og Brink (2015) har beskrevet, så grundigt som muligt. Herefter vil jeg kalde det almindelige *meget*, som udtrykker, at noget ER i høj grad, for *meget 1*, og det særlige *meget*, som udtrykker at noget IKKE er i så høj grad, for *meget 2*.

Med hensyn til de diskussioner om *meget 2*, som er fremlagt af Hansen (2013) og Brink (2015), vil jeg foreslå to punkter: det ene handler om, hvornår denne anvendelse af *meget* er opstået i det danske sprog, og det andet, hvilke adjektiver udenlandske danskstuderende skal passe mest på med at bruge, for at de kan undgå at blive misforstået ved deres brug af *meget*.

Når det drejer sig om opståen af *meget 2*, påpeger Brink (2015: 25), at denne brug må være af nyere dato, og at *meget 2* ikke er nævnt i *Ordbog over det Danske Sprog* (herefter forkortes som ODS). Dog har jeg fundet det følgende eksempel under *megen* i ODS:

(20) “hvorledes synes Du saa egenlig om Paris?” .. ”Jo, Tak, godt, meget godt” .. ”Godt, meget godt . . det vil sige: temmelig godt. Er der Noget i Vejen?” (ODS)

Meget i (20) må være *meget 2*, når det er omformuleret med *temmelig*. Dertil skal man også bemærke, at der til sidst spørges om der er noget i vejen. Dette eksempel er fra *Pon Cleophas* (1875) af M.A. Goldschmidt, så opståen af *meget 2* kunne måske spores tilbage til slutningen af 1800-tallet.

Når det drejer sig om de adjektiver, der kan bruges med *meget 2*, nævner Hansen

(2013) og Brink (2015) 21 forskellige adjektiver, og de påpeger også, at nogle hellere vil bruge et andet forstærkende adverbium sammen med disse adjektiver, f.eks. *rigtig(t)*, i stedet for *meget 1*, for at undgå misforståelse. For at finde ud af, hvor hyppigt *meget* og *rigtig(t)* forekommer med disse adjektiver, har jeg lavet en undersøgelse ved hjælp af KorpusDK. Min undersøgelse har vist, at der næsten findes lige så mange forekomster af【*meget* + et adjektiv / et heraf afledt adverbium】og 【*rigtig(t)* + et adjektiv / et afledt adverbium】ved adjektivet *god*, og ved adjektiverne *smart* og *pæn* findes der også relativ tæt forhold mellem forekomsterne. Dog har der også været nogle adjektiver, der ikke har nogen forekomster med *rigtig(t)*. Naturligvis skal det bemærkes, at KorpusDK er et korpus mest baseret på skriftsprog, men med hjælp fra min undersøgelse kan jeg i det mindste foreslå udenlandske danskstuderende at undgå at bruge *meget* og i stedet at bruge *rigtig(t)* eller andre typer fremhævningsmåder, hvis de gerne vil fremhæve *god*, *smart* og *pæn*.

参 考 文 献

Brink, Lars. 2015. “Meget 2”, *Mål & Mæle* 1/37. årgang, 23-26. København: Københavns Universitet.

Hansen, Aage. 1967. *Moderne dansk II*. København: Grafisk Forlag.

Hansen, Erik. 2013. “Mangt om meget”, *Mål & Mæle* 1/35. årgang, 6-8. København: Københavns Universitet.

Hansen, Erik & Jørn Lund. 1983. *Sæt tryk på*. København: Lærerforeningens Materialeudvalg.

Mikkelsen, Kr. 1975 (1911). *Dansk ordföjningslære*. København: Akademisk Forlag.

Wiwel, H. G. 1901. *Synspunkter for Dansk Sproglære*. København: Det Nordiske Forlag.

辞 書

金田一京助他．1986.『新明解国語辞典』第３版．東京：三省堂.

森田良行．1993(1989).『基礎日本語辞典』．東京：角川書店.

インターネット上の辞書／資料

DDO = Det Danske Sprog- og Litteraturselskab. *Den Danske Ordbog* (http://ordnet.dk/ddo).

ODS = Det Danske Sprog- og Litteraturselskab. *Ordbog over det danske Sprog* (http://ordnet.dk/ods).

KorpusDK = Det Danske Sprog- og Litteraturselskab. https://ordnet.dk/korpusdk

Det hyppigste ord i dansk = Det Danske Sprog- og Litteraturselskab. https://korpus.dsl.dk/resources/details/freq-lemmas.html.

例文出典

Bostrup, Lise. 2012. *Aktivt Dansk*. Alfabeta: København.

Holm, Mette (oversætter). 2019. *Døgnkioskmennesket*. København: Grif.

村田沙耶香．2016.『コンビニ人間』．東京：文藝春秋.